近世

第7章 幕藩体制の確立 4. 江戸時代初期の外交関係(1) 初期の外交

# 



(『石見亀井家文書』国立歴史民俗博物館蔵)★

# **亀井茲矩(1557~1612)**

出雲国出身。尼子家臣湯永綱の子。 毛利氏による尼子攻めで敗北した後、 羽柴秀吉の配下として鳥取城攻めに加 わり、鹿野を拠点に活躍し、鹿野城主 となる。関ヶ原の戦いでは東軍に味方 し、勝利後、気多郡・高草郡を与えら れる。



国指定史跡:<u>亀井茲矩墓所</u> (鳥取市気高町山宮)

#### 解説

#### ■朱印船貿易

江戸時代初期、幕府は日本人の海外 渡航を奨励し、各地の大名や商人に、 海外渡航を許可する朱印状を与えた。 このような船を朱印船と言う。

## ■亀井茲矩の朱印船貿易

鹿野城主亀井茲矩も朱印船貿易を積極的に行った武将の1人である。

この資料は1610(慶長15)年に茲矩がパタニ国王に送った手紙である。パタニ(大泥国)はマレー半島東岸にあった女王国で、この地方の貿易の中心地であった。この手紙は日本の海賊のため



(大嶋陽一2012年より引用)

に途絶えていた国交を、シャム国王の仲介により再開することにした とパタニ国王に伝 【朱印船貿易を行った主な大名】

えたものである。 茲矩は早くから 世界に目を向けて いた。この表によ れば、朱印船貿易 を行った大名は、

大名	地域	回数	大名	地域	回数
島津家久	薩摩	8	加藤清正	肥後	3
松浦鎮信	肥前	7	五島玄雅	肥前	2
有馬晴信	肥前	7	竹中重義	豊後	2
亀井茲矩	因幡	3	松倉重政	肥前	1
鍋島勝茂	肥前	3	細川忠興	筑前	1

ほとんど九州出身者である。その中で山陰の亀井茲矩が積極的に貿易を 行っていたことは注目される。 (担当: 岡村吉彦)

### 参考 資料

- ・大嶋陽一「史料篇『亀井茲矩朱印船貿易』<u>(鳥取市あおや郷土館編『図録 戦国の</u> 知将 亀井茲矩』)(2012年)
- 鳥取県『新鳥取県史資料編 古代中世 1 古文書編』(2015年)

★の写真は教育活動以外での無断利用や転載を禁止します。